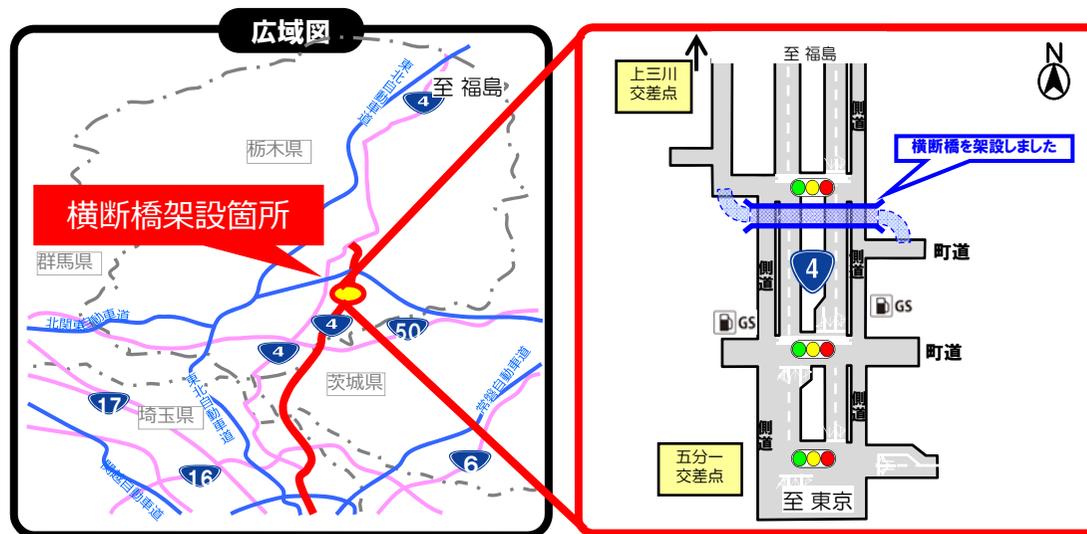


新4号国道の交通事故対策工事の横断橋を架設いたしました ～ 栃木県河内郡上三川町五分一付近 ～

～ご協力ありがとうございました～

新4号国道上三川町五分一地先においては、町道が連続して交わる交差点であり、付近では、過去4年間で、死亡者3名、重傷者10名の重大事故が多発しました。このため、交通事故対策として、連続する3箇所の交差点を1箇所に統合することにより、交通事故を防止するための工事を進めています。

今回工事では、交差点の統合により、新4号を横断する町道の機能を確保する横断橋の架設をいたしました。皆様には架設に伴い、4月24日夜間に新4号国道本線（上下線）の一時通行止め等の交通規制と、迂回にご協力頂きましてありがとうございました。尚、今後は横断橋の取り付け道路や新4号国道の6車線化の工事などを進めて行きます。



架設前



架設中



架設完了

※横断橋架設の流れは次ページ以降に示します。

横断桥架設の流れ



①新4号国道全面通行止め状況
※交通量の最も少ない時間を選定し、警察等にご協力をいただき、渋滞防止の為に県道等へ迂回路を設定しました。(交通量は1日当り上下線合計約38,000台です)



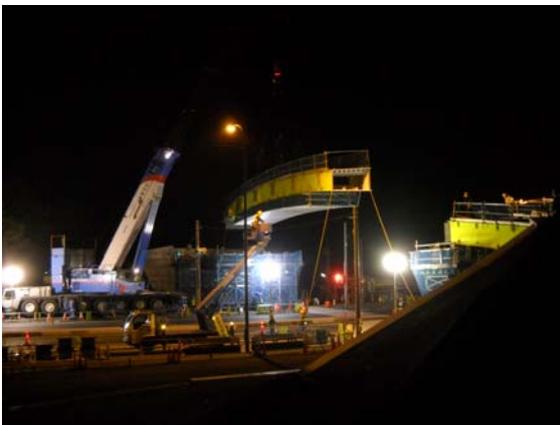
②吊上げ準備中
※通行への影響を最小限とする為に、将来の拡幅部分を利用して橋の組み立てを行いました。



③500tクレーンにより吊上げ中
※1本の桁が約70t(普通自動車約50台分)あるので1回で架設を行う為に、500tクレーンを使用して架設を行いました。



④吊上げ、旋回中
※現道上の作業を少なくする為、架設前に吊り足場(銀色部分)の取り付けを行いました。



⑤吊上げ、旋回中
※狭い作業ヤードで、街路灯や電線等の支障物と接触しないように高所作業車を使用し吊荷の位置の把握及び誘導を行いました。



⑥ボルト締め状況
※2本の桁を当初の予定通り、それぞれ約40分で架設しました。